

法学の基礎ではなく試験の基礎を学ぶ!

基礎エッセンス講義

全10回
(約30時間)

申込み開始日
2019年
8/1(木)

申込み締切日
2021年
3/31(水)

当講義が含まれるパック一覧 ▶ ■ ハイブリッド予備フルバック ■ ハイブリッド予備総合バック ■ ハイブリッド入門総合バック ■ ハイブリッド入門バック

これからの学習を 有意義なものとするため必須の講義!

今後の学習で身につけなければならないものを具体的な各科目の問題を用いながら説明します。この講義を受けることで、闇雲にインプットすることを防ぎ合格に直結する学習が可能となるのです。

対象者

予備試験の勉強の全体像を把握したい方

予備試験(短答及び論文)の勉強の方法を再確認したい方

担当講師



みどうちまさと
御堂地 雅人 講師

プロフィール
TAC/Wセミナー講師・弁護士。
早稲田大学教育学部卒。
フルタイムで働きながら、3度目の受験で2015年予備試験合格。そして2度目の受験で2017年司法試験合格。現在、大手法律事務所弁護士業に携わる傍ら、司法試験・予備試験受験生の指導を行っている。法律とは無縁の状態から勉強を始めた経験を武器に、受験生のつまずきを先回りすることを心掛けている。

講師からのメッセージ

この講義は、法学の基礎的知識を頭に入れるための講義ではありません。法律実務家を目指す受験生にとって、法学の知識は、短答試験で解答するため、あるいは、論文答案を書くための手段・道具にとどまりません。

しかし、司法試験に合格するためには、インプットすべき必要な知識が多いため、多くの受験生は、インプットの勉強を進めるうちに、いつしかインプットそれ自体を目的にしてしまう傾向にあります。

そこで、この講義では、各科目の比較的理解しやすい本試験問題等を素材に「基本的知識とその活用方法」を確認し、早期に、合格のための正しい勉強法を確立します。これにより、「解答とための知識」という「目的と手段」の関係が見失われることなく、合格に直結した勉強が可能となります。

カリキュラム

全10回 (約3時間/回)

使用教材

● 講師作成オリジナルレジュメ

※教材費は、受講料に含まれます。

教材は、「本編」と「資料編」の二つから構成されています。

「本編」は、条文の読み方、解釈の仕方、あてはめの表現方法などの「条文の適用」に関する普遍的な学習の理解の助けになる内容となっています。一方、「資料編」では、例えば、訴状など、勉強の初期の段階から触れてイメージをもっておくべきものについて、主に司法試験・予備試験の過去問

の添付資料から抜粋して掲載し、また、予備試験のイメージを持てるように各科目1問ずつ論文問題と答案例を掲載しています。講義では、「本編」と「資料編」を往復しながら、「条文の適用」という司法試験・予備試験合格のための必須の技能について説明します。

受講料

学習メディア	コースNo.	クラスNo.	通常受講料	
			～2019/9/30(月)・8%税込	2019/10/1(火)～・10%税込
ビデオブース(個別DVD)講座	212-141	P26参照	¥59,400	¥61,000
Web通信講座	212-142	W4	¥59,400	¥61,000
DVD通信講座	212-143	96	¥81,000	¥83,000

※お申込みの際はP26「共通のご案内」を必ずご確認ください。

視聴・配信開始日、教材発送日程は P26 をご覧ください。

「基礎エッセンス講義」の意義

合格のための基礎力

× 法律知識があること
○ 法律知識を活用できること(ex 答案が書けること)

「基礎エッセンス講義」では、早期に合格のための学習法を身につけるため、簡易な事例問題で法律知識の活用を経験します!

STEP 1
知識Aを
与えられる

STEP 2
知識Aを活用することになる
簡易な事例問題を検討する

STEP 3
答案例で知識Aの
活用の仕方を確認する

STEP 4
知識Aの
活用方法が分かる

法律知識の活用方法が分かった上で学習することで、他の知識も効率的に習得できます!

申込み開始日
2019年
8/1(木)

申込み締切日
2021年
3/31(水)

ただの短答対策では終わらない短答対策講義!

短答プラクティス講義

全50回
(約150時間)

当講義が含まれるパック一覧 ▶ ■ ハイブリッド予備フルバック ■ ハイブリッド予備総合バック ■ ハイブリッド入門総合バック ■ ハイブリッド入門バック

短答過去問を解きながら、 知識の定着を図る!

条文知識・判例知識を、その活用法とともに、講師がセレクトした短答過去問を解きながら学ぶ講義です。この講義で得られる知識とその活用法は論文式試験においても大いに役立ちます。

対象者

短答式試験の合格を目指す方

短答式試験の勉強を論文試験の勉強に役立てたい方

カリキュラム

全50回 (約3時間/回)



この講義で
学習する理由

条文を事実に適用できるようになるためには、「要件と効果」という考え方を早期に身につける必要があります。この考え方を身につける素材としては、民法と刑法が適切ですが、民法よりも刑法で扱う事案の方が具体的に想像しやすいものであり、また、刑法は、一つの条文で要件と効果が完結しているものが多いため、この講義では、刑法からスタートします。その後、刑法 → 刑訴法、民法 → 民訴法というように実体法 → 手続法という流れで学びます。そして、商法と行政法は、実体法と手続法の両方にまたがりますから、これらの後に勉強します。最後に勉強するのが憲法となります。憲法は、条文が抽象的であり、解釈の占める割合が高いため、まずは基本的な条文の適用に慣れてから勉強するのが、司法試験対策としては効果的であると考えられるからです。

使用教材

● 司法試験・予備試験『逐条テキスト』《早稲田経営出版》 ● 短答過去問オリジナルレジュメ

※教材費は、受講料に含まれます。

受講料

科目毎に単科でのお申込みも可能です P26

学習メディア	コースNo.	クラスNo.	通常受講料	
			～2019/9/30(月)・8%税込	2019/10/1(火)～・10%税込
ビデオブース(個別DVD)講座	212-145	P26参照	¥270,000	¥275,000
Web通信講座	212-146	W4	¥270,000	¥275,000
DVD通信講座	212-147	96	¥378,000	¥385,000

※お申込みの際はP26「共通のご案内」を必ずご確認ください。

視聴・配信開始日、教材発送日程は P26 をご覧ください。

使用教材

司法試験・予備試験『逐条テキスト』《早稲田経営出版》 2020年版を使用します

司法試験・予備試験の対策に
最適な逐条式のテキスト!

短答式試験で問われる細かい知識もしっかりカバー!

司法試験・予備試験合格に必要な条文・判例・通説などの知識を条文順に整理しました。逐条別の構成と図表を多く用いた解説により、条文に関連した形で必要な知識を整理できます。また本書は、近年の試験制度変更により、一段と重要度を増した論文式試験の対策に特に重点を置いて構成しています。



講師からのメッセージ

この講義では、短答過去問を解く過程又は短答過去問・論文過去問で出題された事例との関係で、条文知識・判例知識を押さえます。知識が解答のための手段であることを理解していても、問題に対して解答をするという行為は、様々な苦痛を伴いますから、どうしても知識のインプットばかりが先行し、知識を活用できるようになるためのトレーニングが後回しになってしまいます。また、特に知識の少ない勉強の初期の段階では、独力で知識の活用のトレーニングをすることは困難な面があります。そこで、この講義では、主に短答過去問を通じて、抽象的な知識のインプットにとどまらず、個々の知識の典型的な活用方法をも体得します。さらに、この講義で得られた知識とその活用法は、論文本試験の現場において、ほぼ初見の条文を活用して一定レベルの論述をする際の武器となるものですから、この講義は、「論文合格のための武器を磨く」ためのものでもあります。